

寛容の心

— 異なる意見や立場を考えよう —

ねらい 自分と異なる立場や意見に触れ、広い心を養う。

内容項目 B- **低学年** ⑥ **中学年** ⑥ 親切、思いやり
 B- **高学年** ⑦⑧ **中学校** ⑥ 思いやり、感謝
 B- **高学年** ⑪ **中学校** ⑨ 相互理解、寛容

授業案

段階	学習内容	指導上の留意点
導入	友達とうまくいかなかったことや、親子げんかの原因を思い出してみよう。	○身近な例を挙げながら、振り返らせる。
展開	<ol style="list-style-type: none"> ① 新聞の投書を読む。 ② ワークシートを配り、それぞれの立場で登場している人たちの思いを書き込む。 ③ 寸劇にするため、登場人物の配役を決める。 ④ せりふをアドリブで言う。 	○登場する人たちの思いを想像しながら読ませる。 ○背景を想像しながら、それぞれの立場を考えさせる。 ○その人になりきって、せりふを言うように指導する。
終末	どうしたら、みんなが満足できるバスツアーができるか考え、話し合う。	○意見を出し合うことが目的で、結論を出す必要はない。
評価	一人ひとりが、それぞれの立場での考え方や言い分があることに気づくことができたか。他者の考えに触れることができたか。	

振り返り 授業を終えての感想

教材 ◇2009年11月11日 読売新聞 朝刊/「ツアーに障害者 迷惑ですか」(投書)

ワークシート **自分を振り返る**

年 組 番 氏 名

- ① 最近 **私** と **A** は、けんかをしました。 A: _____
- ② 原因はなんでしたか。 原因: _____
- ③ 両者の言い分を考えて書きましょう。 私の言い分: _____
Aの言い分: _____
- ④ 振り返ることを通して、今、気づいたことを書きましょう。 気づいたこと: _____

ワークシート

異なる意見・異なる立場

年 組 番 氏 名

「日帰りバスツアーに親子3人で申し込んだが、旅行会社から重度知的障害者の娘が騒ぐと迷惑なので遠慮するように言われ、残念だ」という内容の投書です。

ツアーに障害者 迷惑ですか
 無職 吉沢 功 68
 (埼玉県熊谷市)
 家族3人で日帰りツアーを申し込み、出発を楽しみにしていたところ、旅行会社の方から、遠慮していただけないかという電話を受けた。
 私たち夫婦には重度知的障害者の次女がいる。この会社のツアーには以前も参加したが、会社側で参加者のアンケートや添乗員の話聞いたところ、「ツアー」と騒ぐ次女は迷惑とのことだった。
 私たちはいつも「大声を出して迷惑をかけますが、よろしくお願いします」「お騒がせして申し訳ありませんでした」と声をかけている。励ましてくれる人も多かったが、一部の人には迷惑がられていたと改めて認識した。
 親として少し甘かったとは思う。だが、それでも「やはり迷惑ですか?」と聞きたい気持ちだ。「旅行に行くからね」と声をかけると、次女はリュックを持ってくる。次女を思うと、今回の件は涙が出た。

2009年11月11日 読売新聞 朝刊

① 投書を読んで、それぞれの人 が置かれている立場や状況を考えながら気持ちを想像して書きましょう。

● 投書をした人(両親)

● 重度知的障害をもつ娘

● 励ましてくれる人

● 一部の人

● 旅行会社の人

② このバスツアーが、うまくいくために、どうしたらよいと思いますか。あなたの考えを書きましょう。